

## 令和2年度 第1回鹿児島市清掃事業審議会 会議概要

### 【日 時】

令和2年8月27日（木） 14時00分～15時22分

### 【場 所】

市役所東別館9階 特別中会議室

### 【出席委員】

井上委員、小栗委員、鬼塚委員、川崎委員、川畑(宏)委員、川畑(義)委員、田尻委員、根建委員、百武委員、三原委員、宮竹委員

### 【会 次 第】

- 1 開会
- 2 環境局長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 会長、副会長選出
- 5 議事
  - (1) 説明事項
    - ① 「家庭ごみマイナス100g」の状況について
    - ② 鹿児島市一般廃棄物処理基本計画（概要）について
  - (2) その他
- 6 閉会

### 【会長、副会長選出について】

会長・・・井上 佳朗 委員（鹿児島大学 特任教授）

副会長・・・三原 美智子 委員（鹿児島市衛生組織連合会 副会長）

### 【議事概要】

#### ① 「家庭ごみマイナス100g」の状況について

##### ○マイナス100gの組成割合

委 員：家庭ごみマイナス100g減量にあたり組成ごとの減量計画はあるか。

事務局：生ごみの水切りで40g減、古紙やプラスチック容器類の資源物分別で54g減、もやせないごみの中の金属類の分別収集により6g減と考えている。

##### ○剪定枝資源化事業

委 員：剪定枝粉碎機の補助件数が予算を上回る状況であるが、どう対応するか。

事務局：予算計上100件に対し、4月から7月で118件の申請があったことから、事業効果が表れているものと考えている。今後購入される方に対しても助成できるよう調整を進めていきたい。

委 員：補助金の申請者は個人が中心か、町内会が中心なのか。

事務局：助成対象者は市民の方あるいは町内会等の団体としており、申請があった118件のほとんどが個人である。

○目標年度の2年延長について

委員：コロナウイルスの影響を考えると延長するという考え方が妥当だと思うが、当初設定していた組成別の削減計画についてもう一度見直すことが必要ではないか。

事務局：詳細に分析した上で対応していきたい。

○リサイクル率の向上

委員：環境省のデータを見ると、ごみ減量が上位の自治体は、リサイクル率も上位になっていることから、ごみ減量と同時にリサイクル率を上げる取り組みが必要である。

○若年者への周知

委員：ごみ減量のテレビCMをしているが、若年者はテレビよりもスマートフォンが生活の中心という傾向がある。もっとPR方法に工夫が必要ではないか。

事務局：若い方々に対してはSNSを活用したPRについて今後考えていきたい。